

# 平成17年度補助事業の成果報告

財団法人 日本サイクリング協会

## 平成17年度補助事業の成果報告

我が国においては地球温暖化等の環境問題、高齢者に対応する健康維持問題が社会的に取り上げられ、その問題を解決するものとして、人や環境に優しい自転車が大きくクローズアップされています。

自転車を利用したサイクリングは、生活に「ゆとり」と「潤い」をもたらし、健康増進に役立つスポーツとして定着しつつあります。

平成17年度も、このような状況を背景に本協会が目指すサイクリングの普及発達を促進するため、各方面のご協力を頂きながら、日本自転車振興会からの補助金と(社)自転車協会の業界資金からの助成金を得て、以下の事業を実施しました。

なお、財団運営の基本事項を策定するため、理事会を3回及び評議員会を2回開催しました。

### ●事業の実施内容

#### ◎公益事業振興補助事業

##### 1. 指導者の育成等事業

###### (1) 指導者養成講習会の開催

新指導者制度のインストラクター養成講習会を次のとおり行いました。

(実施地区 3支部 3回 延べ参加者数 72名)

- ・福岡 平成17年10月16日・30日 久留米市 10名
- ・北海道 平成18年 2月11日～12日 札幌市 18名
- ・千葉 平成18年 2月18日～19日 千葉市 44名

##### 2. サイクリング大会等の開催事業

###### (1) 全国サイクリング大会の開催

全国の一般の人々のサイクリングへの関心を高めるとともに、サイクリング人口の拡大を図るため、全国サイクリング大会を次のとおり実施しました。

- ・熊本 平成17年10月22日～23日 天草周辺 703名

###### (2) ブロックサイクリング大会の開催

サイクリング愛好者の拡大と指導者の実践教育、情報交換の場としてブロックサイクリング大会を次のとおり実施しました。

(実施地区 6ブロック 延べ参加者数 1,379名)

- |       |     |            |      |      |
|-------|-----|------------|------|------|
| 北海道   | 北海道 | 8月 6日～ 7日  | 弟子屈町 | 274名 |
| 東北    | 秋田  | 8月20日～21日  | 能代市  | 315名 |
| 関東甲信越 | 東京  | 10月 8日～10日 | 伊豆大島 | 186名 |
| 中部    | 富山  | 9月10日～11日  | 小杉町  | 193名 |
| 近畿    | 奈良  | 10月16日～17日 | 奈良市  | 113名 |
| 中四国   | 香川  | 10月24日～25日 | 高松市  | 298名 |

###### (3) 県サイクリング及びサイクルスポーツ大会の開催

サイクリング愛好者を対象として、各都道府県支部において、サイクリング及

びサイクルスポーツ大会を、実施支部 32 支部、実施回数 45 回、延べ参加者数 5,922 名で実施しました。

### 3. 特別普及奨励事業

サイクリング愛好者の拡大と地域振興を図るため、地元自治体との共催により下の事業を実施しました。

#### (1) ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース大会の開催

平成 17 年 6 月 25～26 日 長野市 2,338 名

#### (2) シティサイクリング大会の開催

平成 17 年 9 月 18 日 新宿区（都庁）～江東区（夢の島公園）  
1,227 名

#### (3) 親子ふれあいサイクリング大会の開催

平成 17 年 8 月 28 日 前橋市 350 名

### 4. 自転車公園開場事業

#### (1) 神宮外苑サイクリングセンターの開場

サイクリングの普及啓発を図るため、日曜、祭日に神宮外苑周回の一般公道を交通規制して、神宮外苑サイクリングセンターとして年間 60 回開場し、合計 4,445 名の参加者を得て実施しました。

#### (2) 交通安全教室の開催

神宮外苑サイクリングセンター前において、四谷警察署と共催で春、秋の交通安全運動に連携し、自転車安全教室を開催しました。

## ◎機械工業振興補助事業

### 1. 自転車乗用に関する調査研究事業

自転車に関する調査研究は学識経験者及び自転車関係団体で構成する調査委員会を組織し、本年度からは自転車乗用の機会促進を基本目的とし、平成 17 年度は大規模自転車道の実態を把握するため、関東 8 都県の支部による実走調査、全国 2 万人の自転車ネット会員を擁する機関を利用したネット調査及び、8 都県の大規模自転車道を整備管理する自治体にアンケート調査し、報告書に纏め、関係各機関の他、全国の大規模自転車道を整備管理する自治体に配布しました。

#### ・ 委員会開催状況

平成 17 年 12 月 5 日 第 1 回調査研究委員会開催

平成 18 年 1 月 16 日 第 2 回調査研究委員会開催

3 月 6 日 第 3 回調査研究委員会開催

### 2. 自転車に関する広報事業

自転車乗用人口の拡大促進及び国内自転車産業の活性化を図るため、サイクリング大会の案内紹介・国内自転車メーカー、部品メーカー等の最新の製品情報紹介等、自転車に関する内外の最新情報を広く収集し、その情報を広く一般に提供するため、情報誌「サイクリングジャパン」を次のとおり作成し、会員、関係団体等に送付した他、自転車専門雑誌に賛助会員募集広告を行い賛助会員の拡大に努めました。

・ サイクリングジャパン（N○442 号～N○445 号）各 14,000 部

### 3. スポーツ用自転車に関する耐久調査事業

茨城県千代川村の筑波サーキットにおいて、調査研究を実施するため大会「2005全日本12時間耐久サイクリング in つくば」を開催し、参加者905名が使用している自転車の種類（車種）、またフレーム、ハンドル、ブレーキ、クランク、タイヤ、ホイール等についてアンケート調査し報告書に纏め、関係機関に配布しました。

- ・開催日 平成17年 8月27日（土）～28日（日）
- ・開催場所 茨城県千代川村 筑波サーキット「つくば2000」
- ・参加者数 187チーム・905名

#### ◎自主事業

##### 1. ブロック別指導者連絡会議の開催事業

全国7ブロックに所属する各支部の代表者と各種情報交換や事業運営等について会議を次のとおり開催しました。

- ・北海道ブロック 平成18年2月 4日（土）～ 5日（日）（札幌市）
- ・東北ブロック " 2月12日（日）～13日（月）（秋田市）
- ・関東甲信越ブロック " 2月11日（土）（港区）
- ・中部日本ブロック " 2月23日（木）（名古屋市）
- ・近畿ブロック " 2月27日（月）（大阪市）
- ・中国四国ブロック " 2月 9日（木）～10日（金）（広島市）
- ・九州ブロック " 2月 2日（木）～3日（金）（福岡市）

##### 2. 無料法律相談の開設

本協会に顧問弁護士を置き、賛助会員のサイクリングの諸活動、日常生活において生じるトラブルの法律的事案に関し、無料の相談室を開設しました。

##### 3. 指導者登録証作成交付事業

本協会が認定したサイクリングインストラクターの新規登録者及び登録更新者並びにサイクリングディレクター（1級・2級）の登録更新者に係る登録・更新を行うとともに、それらの者に対して登録証を発行しました。

##### 4. その他の実施事業

###### （1）サイクリング大会協力事業

地方自治体を中心とし、地域振興の一方策としてサイクリングやサイクルスポーツ大会に対する関心が高まる中、計画事案には積極的に助言、指導を行った他、実施大会の参加者募集及び設営、受付等の開催執務に協力しました。

- ・開催主管 2005サイクリング in 伊豆スカイライン  
平成17年5月20日（土）
- ・助言、指導 諏訪圏縦断サイクルマラソン（平成18年6月開催）
- ・開催協力 全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍大会  
平成17年8月27日（土）～28日（日）

###### （2）サイクリングターミナル関係事業

全国のサイクリングターミナルを効果的に活用するため、全国サイクリングタ

一ミナル協議会の事務局として、意見交換、情報交換の場として総会を開催しました。

また、29ターミナルの共同PRを推進し、ホームページを再構築するとともに、一般旅行向け雑誌等に広告を掲載しました。

・「歴史街道」(2月6日): 本文、4色、1頁

・「旅写真」(2月20日): 本文、4色、1頁

・「一個人」(2月26日): 本文、4色、1頁

### (3) 自転車乗用教室の協力事業

近年、自転車乗用に係る事故の増加傾向を背景に、警察や交通安全協会等が開催する自転車安全乗用教室等の講師として9教室等に協力しました。